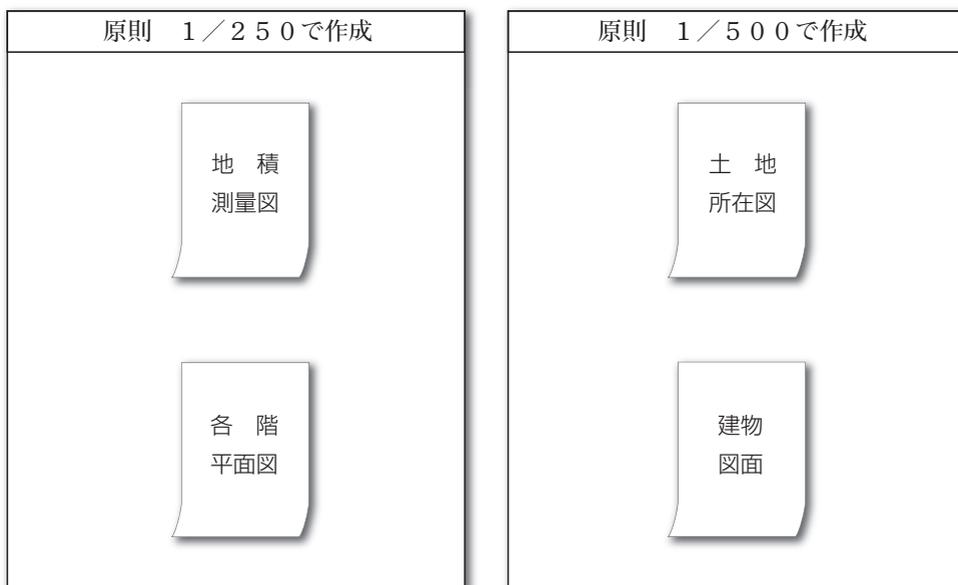


Ⅱ 土地家屋調査士試験受験用定規の基本的な使用方法

Q7 縮尺が1/250と1/500のものがありますが、それはなぜですか？

A7 A6でお答えしたように、皆さんが本試験において作成する可能性のある土地所在図、地積測量図、地役権図面、建物図面、各階平面図の原則とされている縮尺が、それぞれ異なるからです。



Q8 地役権図面の原則とされている縮尺はいくつなのでしょう？

A8 地役権図面は、「適宜」の縮尺によることができるとされており、原則となる縮尺が規定されておられません。



「地役権図面の縮尺FREE」は、択一でも効いてくる知識なので、今のうちから覚えておきましょう！

Q9 定規を使った線の引き方を教えてください。

A9 では、まず地積測量図①を用意し、1/250の目盛りが縦になるよう左手に持ってください。シャープペンシルで縦に1本線を引いてみてください。次は横に1本線を引いてみてください。

Q10 線をきれいに引くコツがあれば教えてください。

A10 定規を押さえている左手はしっかりと押さえてください。ペンは紙上に垂直にあてるようにしましょう。線は横に引くほうが安定して引けます。なるべく横に引く様にしてください。それでは、先ほどの直角線を引いた下書きにボールペンで清書をしてみましょう。



下書きは必ず消すようにしましょう。

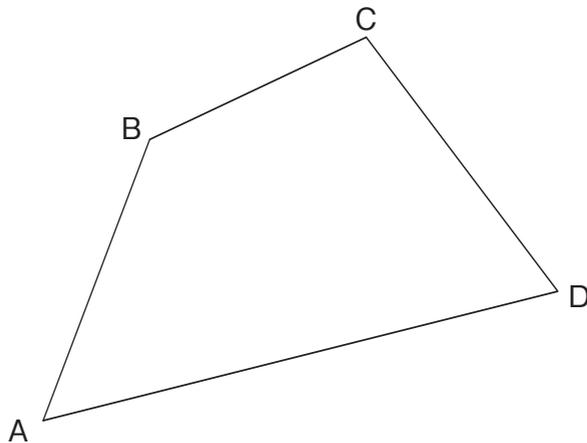
Q11 地積測量図の作成を教えてください。

A11 では、まず、下表に示す座標値を地積測量図②の右半面にプロットしてみてください。(シャープペンシルを使用)

〔座標値一覧表〕 (単位：m)

点名	X座標	Y座標
A	0.00	0.00
B	9.36	3.52
C	12.76	10.68
D	4.32	17.01

〔完成見本〕



Q12 「プロット」って何ですか？

A12 ここでいう、「プロット」とは、指定された縮尺の定規を用いて、図面上に与えられた座標値の点を落とす(印をつける)ことです。

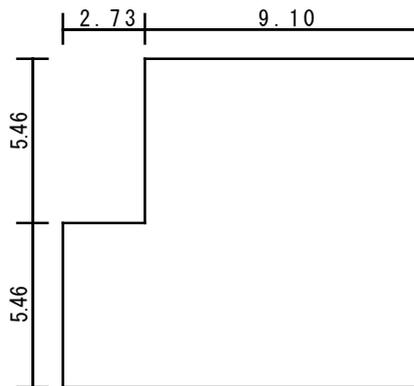
Q13 プロットが終わったら、次は何をすればよいですか？

A13 プロットしたそれぞれの点をシャープペンシルで結びます。そしてその後、ボールペンで清書し、下書きを消して完成です。

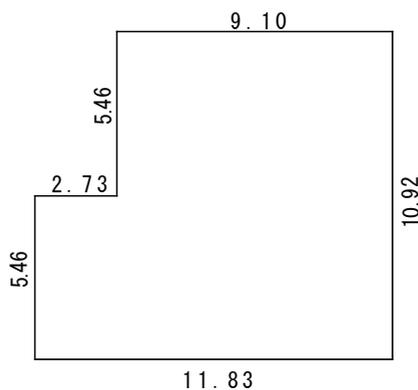
Q14 各階平面図の作成方法を教えてください。

A14 では、まず、下に示す見取図の形状を、250分の1の縮尺で、建物図面・各階平面図①と一緒に下書きしていきましょう。下書きが完了したら、ボールペンで清書し、建物の周囲の長さを記入しましょう。

〔見取図〕



〔各階平面図〕



(縮尺：1 / 250)